

「ICTを通じて『基礎学力向上』を支援する」をポリシーに

ライズ株式会社が生産したのは2005年。しかし、そのルーツは、30年以上前に創業した学習塾までさかのぼる。当時、パソコンは高価で、インターネット環境もまったく整っていなかった。しかし、その時代にデジタルに可能性を見出したその学習塾は、デジタル教材を開発し、パソコン通信で提供することを試みていた。そして現在、ICTと教育を結びつけるというその思想は、ライズ株式会社にも脈々と受け継がれている。今回はその同社を、彼らが提供する教育動画クラウドサービスを中心に取り上げたい。

様々な分野にサービスを展開

「ICTを通じて『基礎学力向上』を支援すること」が社会的使命であり、存在意義であると私たちは考えています」と、ライズ株式会社民間教育グループ執行役員



ライズ株式会社民間教育グループ執行役員 兼グループリーダーの近藤隆秋氏

兼グループリーダーの近藤隆秋氏は同社についてこう述べる。

同社は現在、学校、そして学習塾向けにICTサービスを提供している。中でも小中学校向けのサービスである「ライズeライブラリアドバンス」は、全国の約5000校の小中学校で利用されているサービスである。これは、パソコンやタブレットなどを用いたドリル教材で、生徒一人ひとりの習熟度別指導や少人数指導、グループ別指導などあらゆる場面で活用できるようなっている。また、大学と共同開発した学び

レットなどを用いたドリル教材で、生徒一人ひとりの習熟度別指導や少人数指導、グループ別指導などあらゆる場面で活用できるようなっている。また、大学と共同開発した学び

直し教材の提供など、リメディアル専門教育ツールも提供しており、基礎学力向上に重きを置いたサービスを展開している。

それらに加えて、学習塾向けには4つのサービスがある。基礎学力の定着のためのデジタルドリル教材「NEWeドリル」(総販売元・株式会社えいすう総研)、全国の最新10年分の公立高校入試問題をデータベース化し、プリント教材として提供する配信型サービス「過去問サーチ」、生徒の入退室の時刻をリアルタイムで伝える「入退室お知らせメール」と塾からのお知らせを保護者に一斉に送信できる「連絡メール」機能を組み合わせた、メール配信の複合システムである「安心でん

しよば」と、そして、昨年から展開さ

れている「CANOW(キャナウ)は、授業と音声動画を教材として作成・配信できる教育動画クラウドサービスである。

「CANOW」はシンプル。だから、多種多様な活用が可能

通常、授業の動画を制作するためには、ツールの準備やサーバーの構築、閲覧管理のシステム構築など、多大なコストや手間がかかる。しかし、このサービスは、ICTの知識がなくても動画を作成することができ、配信、閲覧履歴の管理までをワンストップでできるようにしている。

動画は、パソコンが1台あれば手軽に作成可能で、電子黒板とも連動できる。先生は、ディスプレイをホワイトボードや黒板に見立て、いつもの授業(板書と音声)をするだけだ。その際にPDFやパワーポイントなどのデータを取り込むことができるので、自塾の教材をそのまま活用できる。また、板書そのものを映像化するため、先生自身は動画に映らない。服や髪型が映ることによ

り映像に古さを感じさせる心配がなく、長期間使うことができるのも特徴のひとつだろう。

生徒は、動画閲覧用アプリ「ビューワ」をインストールすることで動画の閲覧が可能になる。この「ビューワ」はマルチデバイスに対応しているため、パソコンだけでなく、タブレットやスマートフォンなどでもどこでも。その動画を見ることができ、生徒毎に閲覧設定ができ、たとえば「数学だけ夏期講習で授業を取っている生徒」には、数学だけ見られるようにすることが可能。その閲覧状況も簡単に管理できる。

価格は、月額2万円から。(生徒50人まで配信可能。別途、初期費用5万円)2GB分の動画の作成、配信がパッケージになっている。動画は、独自の圧縮技術を採用しているため、2GBで

ICTをどう活用すればいいのか?

このサービスは、生徒に対して均一に授業を提供できるだけでなく、予習教材としても利用できる。

も60分の動画を約100本作ることができ(※取り込むPDFやパワーポイントのデータ量により変動)。さらに動画をアップロードした場合は、別途費用を払えば可能である。同じ教務力の講師をもう一人雇用することを考えれば、導入しやすい価格と言えるだろう。

反転授業にも活用できる。あるいは、生徒にわからない問題を写真で送ってもらえば、その解説を動画にして見せるなども可能だ。このように差別化やサービスにも転嫁しやすく、講師不足の解消にも繋げることができる。

また、このシステムには「CANOW」という名称がつけられているが、この名称を自塾のサービス名に変更できるようにもなっている。たとえば、「塾名」ムービーや「塾名」システムといった名称にして、自塾のオリジナルシステムのように利用することができるのも特筆



CANOWは直感的な操作が可能になっており、とても使いやすい

企業データ

ライズ株式会社

代表者:代表取締役 廣井 敬

創業:2005年1月11日

資本金:3000万円

本社所在地:東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス4F

URL:http://www.education.jp/

事業内容

教育用ソフトウェア開発、販売、通信ネットワークによる教育サービスの提供。